

図書館のグループ紹介

情報サービスグループ

弘前大学附属図書館へようこそ。

弘前大学附属図書館は、文京町キャンパスに本館、本町キャンパスに医学部分館を有し、両館あわせておよそ80万冊の蔵書を所有する、大学には欠かせない施設です。今回は、本館で働く職員の中でも特に利用者に接することの多い「情報サービスグループ」についてご紹介します。

現在、情報サービスグループには全部で7名が所属しており、本館のゲートを通ってすぐのメインカウンターで働く「情報サービス担当」と奥に進んだところにある参考調査カウンターで働く「参考調査担当」に分かれて日々の業務を行っております。情報サービスグループの業務は多岐に渡り、利用者への本の貸し出しと返却、学内外からの資料の所蔵調査などのレファレンス、他の大学と本や文献をお互いに融通しあう相互利用、書庫などの蔵書点検、購入希望図書の受付など、毎日忙しく働いています。

そんな情報サービスグループが行っている業務の中には、利用者にもっと図書館を活用してもらうためのものもいくつかあります。その一つが図書館ガイダンスです。毎年、情報サービスグループでは、本館の利用方法の紹介を中心としたガイダンス(新1年生を対象として4月～6月に実施)と、資料の活用方法の紹介を中心としたガイダンス(3年生以上を対象にして、春期5～6月、秋期10月の2回実施)の2種類を行っ

ています。このガイダンスなどを通じて、情報サービスグループでは、より多くの方が図書館を利用してくれることと、利用者にとって図書館がさらに便利なものになることを目指しています。

「For Your Just」という言葉をTVのCMで耳にしました。当図書館もこの言葉のように、「利用者のあなたにとってちょうどいい」場所でありたいと思います。「困ったときの図書館」、「わからないことがあったら図書館」でも良いですし、「とりあえず、図書館」でも構いません。ぜひ、図書館へ足を運んでみてください。いつでも情報サービスグループのメンバーがカウンターであなただを待っています。

(参考調査担当 安田昌史)



情報サービスグループのメンバー

弘前大学出版会より新刊紹介

「幻灯夢—弘前大学「言語力」大賞作品集—」

弘前大学附属図書館 編



平成17年に「文字・活字文化振興法」が公布・施行され、10月27日が「文字・活字文化の日」として制定された。これを記念し、弘前大学では、学生の言語力向上のために、4,000字程度の文学作品と評論を募集し「学生『言語力』大賞コンテスト」を毎年実施している。平成21年度は、数えて5回目の節目にあたり、これまでの大賞、優秀賞の作品11編を本書にまとめた。最近、若者の『言語力』不足がマスコミ等で論じられる中、太宰を生んだ学舎で作家に憧れる新鮮な学生たちの作品集である。

(発行:2010年3月24日/定価840円)